

患者の皆様へ

2019年 2月 1日
婦人科・周産期母性科

現在、婦人科・周産期母性科では、絨毛・胎盤組織のテロメア長を検討する研究を行っています。この研究では、当研究室で行っている研究「胞状奇胎が疑われる異常妊娠における DNA 多型解析」に 2008 年から 2018 年の期間に参加していただいた方で、検体の保存・将来の研究での使用に同意された方の保存組織・ゲノム DNA および診療情報などを利用させていただきます。診療情報・保存組織などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名

「胞状奇胎におけるテロメア長の検討」

2. 研究の意義・目的

胞状奇胎組織、絨毛組織、胎盤のテロメア長を測定し、続発症（臨床的侵入奇胎や奇胎後 hCG 存続症）発症の有無の関連を調べます。

3. 研究の方法

2008 年 1 月 1 日から 2018 年 12 月 31 日の間において、診療録に記載されている診療録（電子カルテを含みます）から、身長、体重、年齢、ヒト絨毛性ゴナドトロピン値、妊娠週数などを調べさせていただきます。また、絨毛ゲノム DNA を用いて、テロメア長を解析します。テロメア長の解析は、①サザンブロット法、②リアルタイム PCR による定量法の 2 種類の方法で行います。絨毛組織・ゲノム DNA は臨床データとひも付けした後、匿名化した後で研究に用います。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、匿名化して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院生殖医学教室の鍵のかかる引き出しに保管します。

5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をします。下記に、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて揭示を行っています。

研究実施機関 : 千葉大学医学部附属病院婦人科・周産期母性科
本件のお問合せ先 : 千葉大学大学院医学研究院生殖医学
講師 碓井 宏和（うすい ひろかず）
043（226）2121 内線5312（産婦人科医局）